熊本大学工学部冶金科

昭和 33 年卒業

「悠哉会」会誌



序文

本会は、熊本大学工学部冶金科を、昭和 33 年卒業した一同の同期会として発足したものです。

第一回の例会は、熊本の地においてスタートしました。

幹事は横山君が務めました。この第一回開催には、健康上の理由で大好きだった酒を絶たれた佐藤君も、元気に参加されていたことを、鮮明に記憶しています。

以降、脈々として続いてきた同期会改め「悠哉会」は、奈良悠哉会で務めを終えましたが、これまでの経緯は、末永く会員の胸に刻まれ続けることでしょう。

なお、現役時代に志半ばにして早世された方、定年を迎え日々を楽しく送りながらも、体調を崩されお亡くなりになった方々に、謹んで哀悼の意を表すと共に、来世において親しく相まみえることが出来ますことを、強く希望したいと思います。

この会誌は、高島君がまとめた記録をもとに作成しました。

奥村　周



卒業５０周年記念熊本大会参加者一同

（会員の情報）



③ ⑰ ① ⑦ ⑥ ⑬ ⑩ ⑪ ⑮

④ ② ⑯ ⑫ ⑭ ⑤

① 氏名　　石原　只雄

現住所　　神奈川県 横浜市 在住

出身校　　熊本県立 熊本高等学校

主な職歴 佐藤造機㈱　島根県松江市

科学技術庁　東京都目黒区中目黒

金属材料技術研究所　筑波市

横浜国立大学共同研究推進センター　横浜市

オストラバ大学工科大学　　チェコ共和国

② 氏名　　上野　策光

現住所　　福岡県 北九州市

出身校　　福岡県立 鞍手高等学校

主な職歴 東洋合金㈱

① 氏名　　宇梶　洋

現住所　神奈川 県座間市

出身校　大分県立 中津高等学校

主な職歴 東洋冶金工業(株)（大阪市）

(株)三井三池製作所　（大牟田市）

東洋精密プレス工業(株)出向　（神奈川県伊勢原市）

② 氏名　　大野　和彦

現住所　長崎県 長崎市　（ご家族様）

出身校　長崎県立 佐世保南高等学校

主な職歴 岡村バブル(株)（滋賀県）

三菱重工業(株)長崎造船所（長崎市）

ご命日　平成 30 年 6 月 20 日

③ 氏名　　尾田　幸典

現住所　福岡県 北九州市　（ご家族様）

出身校　熊本県立 八代高等学校

主な職歴 新興アルマ-工業(株)（滋賀県）

ご命日　平成 17 年 9 月

④ 氏名　　奥村　周

現住所　愛知県半田市

出身校　熊本県立 宇土高等学校

主な職歴 クロダイト工業(株)（愛知県碧南市）

⑤ 氏名　　堺　英輔

現住所　福岡県 福岡市　（ご家族様）

出身校　福岡県立 香椎高等学校

主な職歴 三菱重工業(株)長崎造船所（長崎市）

ご命日　平成 24 年 12 月 10 日

① 氏名　坂井　正

現住所　佐賀県 武雄市　（ご家族様）

出身校　熊本県立 八代高等学校

主な職歴 自衛隊

寿工業(株)（広島県呉市）

清本鉄鋼(株)

ご命日　H29 年 7 月

② 氏名　佐藤　有一

現住所　把握せず　（ご家族様）

出身校　把握せず

主な職歴 佐藤造機㈱　島根県松江市

科学技術庁　東京都目黒区中目黒

ご命日　把握せず

③ 氏名　鈴木　博

現住所　千葉県 千葉市

出身校　熊本県立 熊本工業学校

主な職歴 八幡製鉄(株)合併により現日本製鉄(株)（北九州八幡市）

日生下産業(株)君津営業所へ出向後転籍（千葉県君津市）

④ 氏名　高木　幸男

現住所　不明　（ご家族様）

出身校　熊本県立 大津高等学校

主な職歴 関東製鋼(株)（群馬県渋川市）

大同特殊鋼(株)（大阪市）

丸太運輸(株)（愛知県東海市）

ご命日　把握せず

① 氏名　髙島　靖

現住所　大阪府 大阪狭山市

出身校　熊本県立 宇土高等学校

主な職歴 富士製鉄(株)（兵庫県姫路市）合併により現日本製鉄(株)

ハリマセラミック(株)へ出向後転籍 合併により現黒崎播磨(株)（兵庫県赤穂市）

② 氏名　初野　恭敬

現住所　福岡県 北九州市

出身校　福岡県立 小倉高等学校

主な職歴 (株)岡本鉄工所（山口県下関市）

黒崎炉工業(株)（北九州市）

③ 氏名　原口　俊雄

現住所　兵庫県 神戸市

出身校　熊本県立 熊本高等学校

主な職歴 不二越鋼材(株)　（富山市）

(株)神戸製鋼所（神戸市）

④ 氏名　藤田　健治

現住所　大阪府 枚方市

出身校　福岡県立 小倉高等学校

主な職歴　大阪府立産業技術総合研究所（大阪市）

⑤ 氏名　古田　文昭

現住所　広島県 広島市

出身校　熊本県立　鹿本高等学校

主な職歴 広島アルミニューム(株)（広島市）

① 氏名　　横山　栄一

現住所　大分県 大分市

出身校　把握せず

主な職歴　アサヒ軽金属工業(株)　（大阪市東成区）

大分県工業試験所（大分市）

★★

会開催記録

第 1 回　開催時期　不明

開催場所　「熊本郵政会館」

担当幹事　横山

第 2 回　開催日　　平成 5 年 5 月 15 日

開催場所　熊本市下通町 1 丁目 2-10　「青柳」TEL.096-953-0311（代）

担当幹事　横山

参加者　　14 名　　恩師を招聘

第 3 回　開催日　　平成 7 年 5 月 11 日（木）～13 日(土)

開催場所　兵庫県赤穂市御崎 広畑製鉄所保養所「八方台荘」

東福浦山 TEL.079-142-3306

担当幹事　髙島（代表）原口

参加者　　14 名　石原、上野、宇梶、大野、奥村、尾田、坂井、鈴木、
高木、髙島、初野、原口、古田、横山

行事　　ゴルフ 5 月 12 日(金)相生 C,C　兵庫県相生市那波野 278

TEL.079-122-1010

参加者　　8 名・・・あいにくの雨天だった

1 組　上野、奥村、髙島、初野

2 組　大野、尾田、原口、横山

優勝上野、2 位原口、3 位尾田、BB 横山

岡山備前地区遊覧　5 月 13 日(土)

閑谷学校―備前陶器会館―日本刀剣美術館―伊部陶芸会館―シーサイドプラザーで喫茶懇談後 解散

第 4 回　開催日　平成 10 年 9 月 29 日（火）～30 日(水)

開催場所　九州厚生年金会館　北九州市小倉北区大手町 12-3

TEL：093-592-5405

宴会　料理旅館　浜風　北九州市若松区大字 2910-1

担当幹事　上野、尾田、初野（代表）

参加者 12 名　宿泊者 11 名

観光　小倉城―松本清張記念館―門司港レトロ地区

第 5 回　開催日　平成 11 年 11 月 5 日（金）～6 日(土)

開催場所　大同特殊鋼㈱　保養所　くろがね荘

岐阜県各務原鵜沼市古市場市町 4 丁目 174-2

TEL：0583-84-0562

担当幹事　奥村、高木（代表）

参加者　12 名

行事　徳川美術館コース（5 日）10 名

明治村（博物館）見学（6 日）12 名

第 6 回　開催日　平成 16 年 4 月 12 日（月）～13 日(火)

開催場所　ホテル KKR ポートヒル横浜トヒル横浜(横浜集会所)

所在地　〒231-0862 横浜市中区山手町 115

担当幹事　石原（代表)、宇梶、鈴木

参加者 15 名
行事　4 月 13 日横浜市内観光地巡り

横浜開港記念館　　12 名

大佛次郎記念館　　12 名参加

日本丸　　11 名参加

ランドマークタワー13 名

観光中および終了後の会食　桜木町駅前ワシントンホテル 5 F (Dining & Bar "BAYSIDE"にて昼食、横浜ランドマークタワー 69F 展望フロア内の喫茶店で、休憩後解散

第 7 回　開催日　　平成 18 年 10 月 23 日（月）～24 日(火)

開催場所　㈱ホテル イオス

所在地　〒852-8008 長崎市曙町 39-38　眺望抜群 夜景が映える稲佐山）

担当幹事　大野（代表)、堺、初野

参加者名 13 名

行事　観光　三菱重工長崎資料館およびプロペラ工場―長崎女神大橋（高架橋）―グラバー邸―昼食（グラバー邸近くの中国料理会館 会楽園）

観光には、セバスチャン氏と同夫人真理さん（奥村周君のご息女）が参加されました。

第 8 回　開催日　　平成 20 年 5 月 20 日（火）～22 日(木)

開催場所　KKR ホテル熊本

TEL：096-355-0121

所在地　〒860-0001 熊本県熊本市中央区千葉城町 3-31

担当幹事　主担当幹事髙島および熊本県出身者、写真担当宇梶

参加者名 14 名 石原、上野、宇梶、大野、奥村、堺、坂井、鈴木、髙島、初野、原口、藤田、古田、横山



1. 20 日午後より希望者のみプレ熊本大学訪問　①五校記念館（説明案内あり）― ②工学部資料館（担当技術員による説明並びに動態保存されている工作機械の運転）― ③自由散策

２．21 日午前大学 公式訪問、①記念講演会（石原君より「金属アレルギーと生体用金属材料」について）②大学並びに工学部の現況（自然科学研究科 髙島副科長）③生産技術研究開発の現況説明（自然科学研究科マテリアル工学科長安藤教授）④最新研究開発事例として「画期的な次世代型合金：耐熱マグネシウム合金」開発装置（略工場）の見学（髙島、安藤両教授）

３．熊本市内観光　築城 400 年の歴史を誇る熊本城、復元なった本丸御殿を参観

４．近郊観光　宿泊ホテル差し回しのマイクロバスで、上天草市 亀やホテル華椿館に向かい、同ホテルで第二次宿泊懇親を行なった　　天草灘（早崎海峡）に生息するイルカウォッチング



天草から熊本へ戻る岐路、明治初期に計画築造された、近代的な三大築港のひとつである三角西港に立ち寄り、しばし往時を偲び楽しんだ。

KKR ホテル熊本に戻り、少しの間喫茶懇談し記念大会を終了した。

詳細は　http://www.nextftp.com/mlp/yuyakai/

第 9 回　開催日　　平成 21 年 10 月 28 日（水）～22 日(木)

開催場所　呉阪急ホテル

TEL：0823-20-1111

所在地　〒737-0051　　広島県呉市中央 1 丁目 1 番 1 号

担当幹事　古田

参加者名 11 名 石原、上野、宇梶、大野、奥村、坂井、鈴木、髙島、初野、原口、古田

観光　江田島 海上自衛隊幹部候補生学校（旧海軍兵学校）―大講堂、教育資料館、食堂では「江田島オリジナルの海自カレー」を食した

第 10 回　開催日　　平成 22 年 10 月 28 日（木）～22 日(金)

開催場所　有馬温泉　奥の坊　（閉館）

TEL：078-904-0035

所在地　兵庫県神戸市北区有馬町 1206

担当幹事　原口（代表)、藤田

参加者名 11 名 石原、上野、宇梶、大野、奥村、坂井、鈴木、初野、藤田、原口、古田

市内観光　太閤の湯殿跡―有馬竹細工製作―有馬筆製作店見学―有馬ロープウェー―オルゴール館―ガーデンテラス散策―六甲ケーブル

第 11 回　開催日　　平成 23 年 10 月 20 日（木）～21 日(金)

開催場所　東京 KKR ホテル

TEL：03-3287-2921

所在地　〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-4-1

担当幹事　石原、宇梶（代表)、鈴木

参加者名 10 名 石原、上野、宇梶、大野、奥村、鈴木、髙島、初野、原口、古田

欠席者　4 名　堺、坂井、藤田、横山

行事　東京スカイリー周辺見学、日本未来科学館、東京都水の科学館、フジテレビ湾岸スタジオ見学、(途中で昼食)、ホテルに戻り喫茶で懇談後解散

第 12 回　開催日　平成 2 4 年 11 月 20 日（火）～21 日(水)

開催場所　西鉄イン小倉

TEL：093-511-5454

所在地　〒802-0003 北九州市小倉北区米町 1-4-11

担当幹事　初野

懇親会場　一椿 小倉本店

参加者名 9 名 石原、上野、宇梶、大野、奥村、初野、原口、古田、横山、

第 13 回　開催日　平成 25 年 11 月 13 日（水）～14 日(木)

開催場所　ホテル ニューツルタ

TEL：0977-22-1110

所在地　〒874-0920 大分県別府市北浜 1-14-15

担当幹事　横山

参加者名 11 名 石原、同夫人、上野、宇梶、大野、奥村、髙島、初野、原口、古田、横山

行事 高崎山入園―別府タワー―昼食懇談―別府駅前にて解散

第 14 回　開催日　平成 26 年 10 月 5 日（日）～6 日(月)

開催場所　ビラマリーン南知多

TEL：0569-63-1175

所在地　〒470-3503 愛知県知多郡南知多町師崎字浅間山１６－３

担当幹事　奥村

参加者名 10 名 石原、上野、宇梶、大野、奥村、鈴木、髙島、初野、原口、古田

行事　杉本美術館（前日の台風のため臨時休館）―野間大坊―海老せんべいの里―ビアシティ南知多（昼食バイキング）―送迎バスにて名古屋駅―同地にて解散

第 15 回　　開催日　　平成 28 年 5 月 6 日（水）～7 日(木)

開催場所　京都新阪急ホテル

TEL：075-343-5300

所在地　〒600-8216　京都市下京区 JR 京都駅（烏丸中央口）正面

担当幹事　髙島（代表)、原口、藤田

参加者名 9 名 石原、宇梶、奥村、鈴木、髙島、初野、原口、藤田、古田

行事　10 月 6 日　ホテル―京都大学本館レストラン ラ トゥールにて昼食　　―八坂神社―祇園（花見小路）―建仁寺―三十三間堂―ホテル―中華レストラン「白楽天」にて、懇親懇談会

行事　10 月 7 日　ホテル―本能寺―二条城―烏丸御池のレストラン ベラロッサ（昼食）―解散

希望者のみ古い街並みを散策　烏丸御池―六角堂―錦市場―大丸百貨店でお土産のお買い物―ホテル（再会を約して解散）

第 16 回　　開催日　　平成 29 年 11 月 3 日（金）～4 日(土)

開催場所　ANA クラウンプラザ ホテル熊本ニュースカイ

TEL：096-354-2111

所在地　〒860-0034　熊本市中央区東阿弥陀寺町 2 番地

担当幹事　奥村、初野（代表)、古田

参加者名 9 名 石原、宇梶、奥村、鈴木、髙島、初野、原口、藤田、古田

行事　11 月 4 日　熊本城見学　参加者 奥村、初野、藤田、古田

宇梶、髙島は元下宿宅訪問

鈴木は姉君宅へ

午後 熊本大学工学部創立 120 周年記念業事には、石原、宇梶、奥村、髙島、初野が参加した。

第 17 回　　開催日　　平成 30 年 11 月 28 日（水）～29 日(木)

開催場所　藤田観光(株)　ホテルフジタ奈良

TEL：0742-23-8111

所在地　〒630-8236 奈良県奈良市下三条町 47-1

担当幹事　髙島（代表）藤田

参加者名 9 名 石原、宇梶、奥村、鈴木、髙島、初野、原口、藤田、古田





行事　11 月 28 日 藤田観光奈良ホテルに 13 時集合

タクシーに分乗し、依水園観光⇒興福寺国宝館 阿修羅像ほか仏像鑑賞⇒徒歩にて猿沢の池、奈良町を散策し本場の奈良漬屋を訪ねてホテルへ

夜、懇親会

11 月 29 日個々に観光の後、関西屈指の迎賓館「奈良ホテル」にて昼食

この度の開催は、悠哉会として最後の懇親会となりました。

この会を以て一応公式的な悠哉会最終の解散となりました。詳細は、本会誌の後半に「特別稿」として記述しています。



別れを惜しんで、最後の杯を挙げた！



宿泊したアインシュタインが、弾いたと言われるピアノ

平成 28 年 5 月 20 日

京都悠哉会の実施レポート

平成 28 年 (2016 年) 5 月 6 日～5 月 7 日にかけて、京都において悠哉会を開催しました。開催に先立つ間近な 4 月 14 日に、熊本県益城町を震源とする震度 7 の巨大地震の発生があり、熊本出身者が多いクラスメートの親類縁者の方々の安否が気遣われ、果たして京都悠哉会が実施できるのか、一時的に相当危ぶまれました。

しかし、熊本ゆかりのメンバーのご親戚は家屋に被害はあったものの、不幸中の幸い人災は一切なく、会員諸氏も気がかりな面もあったでしょうが、参加予定者からは全員出席の意向を承り、無事京都悠哉会の開催に至りました。

悠哉会は懇親会がメインであり、集まることに意義がある。よって観光は身体的負担も考慮して、行う必要はないのではないかと言う議論が、ここ数年に亘って開かれた悠哉会で行われてきました。

しかし会員諸氏が、こぞって京都での開催を求められたことは、長崎と並んで国内きっての観光都市京都であるだけに、この機会を利用して個人的に、あるいはお互い声をかけて、少しの観光を楽しみたいとの意向も垣間見られているものと判断しました。

そこで、京都悠哉会開催に当たって、世話役の関西在住メンバーは一堂に会し、厳しい意見を交わした結果、参加自由なオプションの行事として、標準的な観光コースを設定し、会員の皆さんへ提案することとしました。

以下、計画に基づいた観光ならびに懇親会の模様について、若干のまとめを行っておきます。

==========

Ⅰ．京都参集と半日観光：　京都悠哉会への参集は、京都駅頭に 11:00～1130 に到着していただき、幹事が出迎えたのですが、最初に現れたのは小倉市から参加の初野君でした。

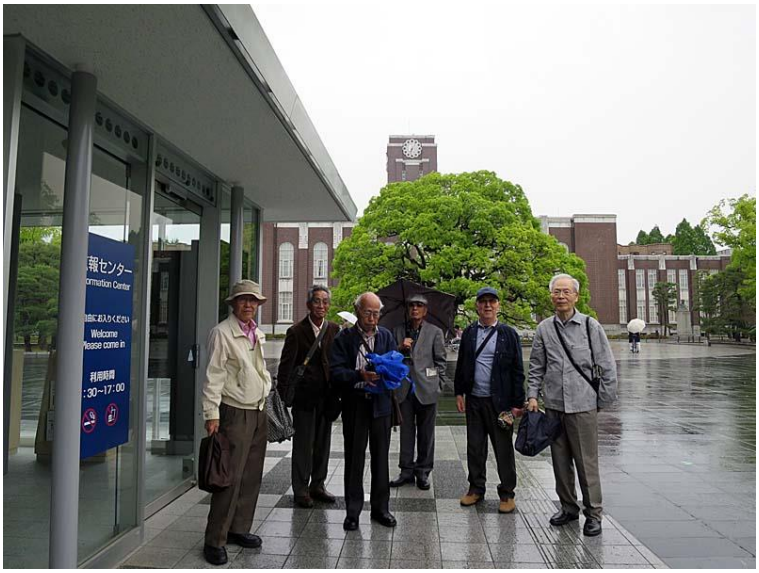


久しぶりの再会に出迎えた藤田幹事と固い握手、感激の再会シーンでした。

その後、神戸市から参加の原口幹事、横浜市からお出でになった石原君、座間市にお住いの宇梶君、愛知県半田市の奥村君と、陸続としてこれに続きました。



一年半ぶりの再会でしたが、皆さん風貌も変わることなく、一見してお互いを確認し再会を喜び合いました。



一同揃ったところで、駅前の宿泊先である京都新阪急ホテルへ移動、荷物を預けて駅前広場に展開する市営バスターミナルへ取って返し、昼食予定先の京都大学へ向かいました。

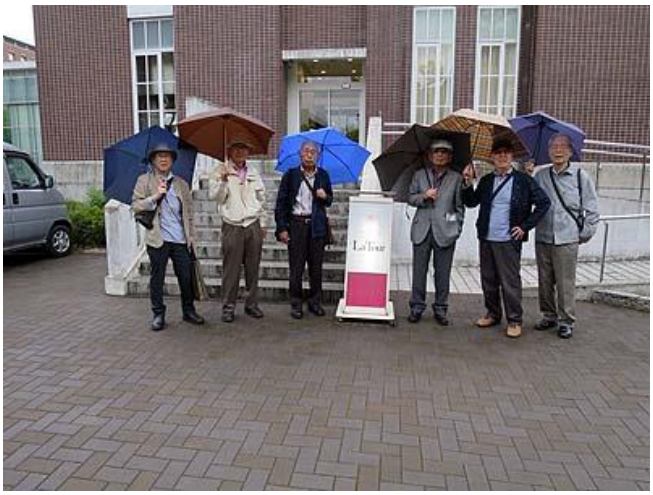
あいにく降り始めた小雨の中、京大正門前のバス停で下車し、少し歩いて京都大学正門へたどり着きました。

正門を入ると大きなクスノキ。こんもりと茂る枝葉の向こうに、京都大学のシンボルである百周年時計台記念館が見えます。

１９２５（大正１４）年建造、８８年の年月を経た風格のある建物の１階にあるのが、当

日の昼食会場レストラン「ラ・トゥール」です。

「ラ・トゥール」は京大創立百周年となる 2003 年に、時計台本館の大改修に当たって、当時の長尾真総長のプロデュースでオープンした本格的フレンチレストランなのです。



フランス語の店名ラ・トゥールとは英語で言えば The Tower、つまり時計台の塔を意味しているそうです。

レストランは、時計台記念館の正面にある玄関からも入れますが、一応レストランの正式の出入り口である、「La Tour」の看板が掲げられている入り口から入館しました。



明るい室内は大学とは趣を異にして、全く一般のレストランと変わりなく、リラックスして食事を楽しめました。

参加者の中からは国立大学でも、ここまで来たか・・・！との感想も聞かれました。

↑
← レストラン「ラ・トゥール」



昼食を終えると再びバスで、東山の祇園へ向かいました。

八坂神社→



この地域には円山公園があって、その一角に八坂神社や知恩院があります。祇園も八坂神社の門前町として栄えた歴史を持ち、現在は花街として大いに賑わっています。



私たちも八坂神社に参詣し、円山公園の一部を散策、そして時代物の家屋がひしめく花見小路を、通りに沿って祇園の街を歩きました。

京都では春の風物詩として「都をどり」が有名ですが、「都をどり」は祇園甲部歌舞練習場を舞台として開かれます。

私たちも外観だけですが、門前まで立ち寄り、あでやかな衣装を身にまとった「をどり」を連想しました。

花見小路を通り抜けると臨済宗建仁寺派の大本山建仁寺に至ります。



建仁寺は建仁 2 年（1202 年）将軍源頼家が寺域を寄進し、栄西禅師を開山として建仁 2 年に開創したお寺です。

この寺には国宝で広く知られている琳派の俵谷宗達が描いたとされる、風神雷神図があります。たまに国宝の絵図の参観が許されますが、通常は今回もそうですがレプリカが展示されています。



法堂の天井には、平成 14 年（2002）に建仁寺創建 800 年を記念して、日本画家の小泉淳作画伯が、約 2 年の歳月をかけて取り組んだ壮大な作品、「双龍図」があります。畳 108 畳にも及ぶ水墨画の迫力に圧倒されます。



この法堂においては、参列者一同で物故者に対し、深甚なる哀悼の意を表する祈りを捧げました。



建仁寺で美しい庭園を愛で、国宝を拝観し法堂で祈りを捧げた後、再びバスで次なる観光スポット三十三間堂へ向かいました。

祇園では小雨の中相当歩きましたが、三十三間堂はバス停から直ぐで、苦にならない場所にあります。

三十三間堂は、平安時代後白河上皇が御所に造営したことが始まりといわれ、古くから日本人の信仰を集めてきました。

同堂はあまりにも高名な寺院ですから、訪れた方も多いと思われます。事実 30 年ぶりに仏像に接し感慨を新たにしたとの感想を漏らしている方もいました。

かなりの数の仏像を抱える三十三間堂で多くの人の目を奪うのが、国宝　風神・雷神と二十八部衆の背後に建つ千一体の「千手観音像」ではないでしょうか。前後 10 列の階段状の壇上に整然と並ぶ千体の観音立像は圧巻の光景！千手観音は、頭上に 11 の顔をつけ、両脇に 40 手をもつ立像です。





なお余談ですが、三十三間堂という名称は、本堂の柱の間の数が、33 本だからといわれています。

参観を終えて、バスで一路京都駅前のバスターミナルへ戻り、宿泊先のホテルでチェックインをいたしました。

Ⅱ．懇親会：　さて注目の懇親会ですがホテル内の中華料理店「白楽天」で、会食としては初夏のシェフおすすめコース　☆伊勢海老☆鱧・蟹☆牛肉『ベストセレクション　三ツ星☆☆☆』フリードリンク付きを食しながら行いました。

懇親会での発言ですが、熊本地震の被災情報や皆等しく加齢に伴う健康問題が中心であり、本人のみならずお連れ合いの方のご病気もあって、質問や意見も出てお互い慰めあいました。



また宇梶君からはイギリス滞在の経験談や、石原君からは地震についての寺田寅彦の随想、「地震雑感」「地震雑感-自然現象の予報」の紹介がありました。

寺田寅彦と言えば五高出身で、東京理科大学（現東大理学部）で学ばれた科学者にして、高名な随筆家。物理学者らしく真理に裏打ちされたものの見方には、大変心を動かされるものがあります。そして現在にも通じるものの見方の新しさが、身に沁みます。よい読み物を頂戴できたものです。

次に高島（筆者）からは、最近高校や大学で新しく試みられている反転授業についての紹介がありました。

私どもの学生時代は、大学の授業に出席して先生の講義を聴き、家に帰って教室で書き取った講義内容を、ノートに整理しつつ復習するというスタイルでした。

これに対して新しい方法の授業では、ICT 技術（情報通信技術）を用いて、録画した講義をインターネット経由で動画（ビデオ）として送り、学生は自宅であるいはカフェででもよいでしょう、自分の都合のよい時間に動画で講義を視聴します。

その上で学生は大学の授業に出席すると、学んだことについての質問や問題提起を行い、学生同士で討議します。先生は学生の議論を正しい方向に誘導し、必要に応じて補講を行います。言うなれば授業時間においての復習ですね。

これは大学の授業の役割が、家庭で講義を学び、大学に出席して復習すると言う具合に、すっかり入れ替わっていることから、この学習方法を反転授業と呼んでいます。

今回は実際に悠哉会メンバーには、モデルの動画（iPS 細胞に関する内容）が事前に送られ、自宅で視聴して来てもらって、懇親会上ではテストと質疑応答の真似事をして、反転授業の具体的な在り方を学びました。

話は尽きませんでしたが、酔いも程よく回った段階で懇親会はお開きとなりました。

以上、早朝からの旅立ちに加えて観光や懇親会で、会員諸氏も相当お疲れになったこともあって、恒例の二次会は中止してゆっくり休んでもらおうと、それぞれの居室へ戻っていただきました。

Ⅲ. 再び観光： 皆さん早起きして貰い、朝食をとっていただきました。宿泊者は朝食込の方が多かったので、ビュッフェまたは和食の選択ができましたが、大方の皆さんは京都で名のある料亭が出店している、美濃吉で京都名物「朝粥定食」を食された方が多かったようでした。

朝食を終えると観光を含む初日のみ参加された原口君と、懇親会だけに出席された鈴木君とはホテルでお別れとなり、残るメンバー7 名はチェックアウト後に荷物を預け、またしてもバスで午前の観光に出かけました。

目的地はあまりにも有名な信長の終宴の地、本能寺参詣です。有名な割に訪れることの少ない寺院で、当日も人影の少ない静かな佇まいに、ゆっくり時間を過ごすことができました。





本堂では、大きな法要が執り行われるらしく、僧侶たちが準備に忙しく立ち回っていました。

寺内で出会った若い僧侶に、明智光秀が信長に焼き討ちをかけた、いわゆる本能寺の変で高名な本能寺は、少し現在の位置と異なっているとの情報があるが、と質問したところ、ほんの少し外れた直ぐ傍にある本能寺ホテルの位置でしたとの回答を得ました。

まあ、問題ない程度の位置の違いに、なんとなく安堵させられました。

本能寺の観光を終えて、次に向かったのは元離宮二条城でした。本能寺から地下鉄東西線に乗り、二駅目の二条城前までわずかな距離の移動でした。



二条城の唐門

二条城は、京都市中京区二条通堀川ある、徳川家康によって造営された平城で、慶長 8 年（1603）に完成をみています。戦に備える城ではなく、将軍が京都に滞在するに際して居城として用いるのが目的でした。

城内は広大で敷地の広さは甲子園球場 6 つ分、二の丸御殿への正門である唐門（昨年の 5 月に修復工事が完了、黄金の輝きを取り戻した）を通って、観光メインの二の丸御殿へと進みます。

二の丸御殿は徳川家康が上洛時の宿舎として建設し、京都滞在時の政務や将軍の生活の場所として用いられました。



二の丸御殿入り口

しかし三代将軍の家光が 1634 年に上洛し、二条城に入城して以来、幕末まで約 230 年間将軍の入城はなかったそうです。

幕末には最後の将軍となった第 15 代徳川慶喜が、二の丸御殿大広間一の間で、諸大名を集めて大政奉還を発布した舞台として有名です。

大広間は上段に徳川慶喜が鎮座し、手前に全国の大名がひれ伏す中、慶喜が大政奉還を宣言したと言われる場面が、目に浮かびます。広間を飾る襖絵は狩野探幽率いる狩野派の絵師たちが、丹精込めて描いたものとされています。

大広間のほかに、遠侍、勅使の間、式台の間、黒書院、白書院などがあって、来客のそれぞれの役割や位によって、部屋の使い分けがなされていました。



また部屋の周囲には廊下が張り巡らされていますが、歩くと床が“キュッキュ”と鳴り、その音を模して鶯張りの廊下と称されています。



その廊下を歩く者がいると音を発し、夜間など侵入者があればすぐに分かる、一種の警報

装置といえるものです。

二の丸御殿を出ると、広く明るい二の丸庭園へ出ます。庭園を鑑賞しつつ進むと本丸御殿や本丸庭園、そして天守閣跡と続き内堀や石垣を眺めつつ、入場した東大手門へ戻りつきました。



たっぷり時間を取った場内の観光、個人で好きな場所を回ってもらいましたが、皆さん無事に指定時刻に合わせて、集合場所へ参集していただきました。

次は昼食の会場へ向かったのですが、二条城前から地下鉄で一駅、烏丸御池（からすまおいけ）へ向かいました。京都の地下鉄は、土地柄掘れば何らかの遺跡に遭遇しますので、かなり深い部分を通過しており、エスカレータは長く乗り降りも少し時間がかかります。



地下鉄を降りて昼食会会場へ向かいましたが、その途次六歌仙の一人であり、また「伊勢物語」で知られる在原業平の旧邸跡の碑がひっそり立っているのを見かけました。

京都には、いろいろな場所の街角に、このような碑を数多く見かけます。やはり歴史の息吹を感じさせられます。

昼食を目当てとするレストランは、この建立されている碑の近くイタリアンのベラロッサです。



お気づきと思いますが、初日の昼食がフレンチ、夕食懇談が中華料理、翌朝の朝食が和定食、そして昼食がイタリアンと言ったラインナップだったのです。



京都は食の点においても、関西では評価の高いお店が多く、和食は有名な料亭が多いのはもとよりです

が、路を歩けば各国のレストランが軒を並べ、味と価格を競っています。

前夜の懇親会はフリードリンクで、かなりお酒の入った方もおられたかも知れませんが、朝早くからの観光で歩き回ったものですから、レストランでは食事と同時にビールやワインで喉を潤すことになり、ほっと一息のひと時でした。

今次悠哉会は食事懇談の場も 4 回に及び、多くのことが話題になり会話を楽しみました。このレストランが最後の、懇談の場となりましたが、過去の悠哉会の思い出話や、悠哉会の運営に関して計画段階の経費のあり方についても話し合われました。

この場を以て石原君が帰宅のため、グループを離れました。



残る 6 人は最後の京都観光となった、烏丸（からすま）界隈の散策に出発しました。この辺りは京都の古い町並み（路地）に残る町家とか、京都の近代化をけん引した企業が残した赤レンガ建ての建物などがあり、歩いて楽しく見て楽しい地域です。

最初に訪れたのはレストラン近くの料亭「和久傳」の支店で、古い町家を改装して営業しています。内部は天井が高く、昔の姿をしのばせてくれます。こうした古い町家が点在するこの一帯は、昔風情の古都京都を偲ばせます。

さらに歩を進め赤レンガの建物を見て参りました。

最初は京都文化博物館・別館ですが、「旧・日本銀行京都支店」（重要文化財）です。烏丸

三条通で最もクラシカルな建物で、煉瓦に白い花崗岩の帯の紅白模様は、日本銀行本店や東京駅など日本を代表する近代建築の巨匠、辰野金吾の設計になります。

次は中京郵便局（旧・京都中央郵便局）です。



京都文化博物館：旧日本銀行京都支店



中京郵便局

外壁はそのままに、内部のみ昭和５３年に新築されました。

日本初の外壁保存の指定を受けたことで有名です。

ルネサンス様式の重厚な外観と小さな入口で一目見ただけでは郵便局には見えません。

最後はみずほ銀行・京都中央支店（旧第一銀行京都支店）です。

元々は渋沢栄一傘下の第一銀行の京都支店として建てられたもので、1906（明治39）年築でした。こちらも辰野金吾の設計で、辰野式と呼ばれる赤煉瓦に白帯のスタイルが特徴です。

みずほ銀行京都中央支店→





次は近代建築の和と美の殿堂・京都「池坊会館」です。「いけばな発祥の地六角堂」の周囲に池坊の家元道場や教室などが設けられ、いけばなの指導、普及、交流活動が行われています。

← 池坊会館

この会館前の大きな通りを左折すると、聖徳太子が創建したと伝えられる六角寺（頂法事）があります。

六角寺は池坊が代々住職を務め、「いけばな発祥の地」と呼ばれています。

六角堂 →





寺院の屋根は確かに六角形をしており、当時このような複雑な様式の寺院の建立は、さぞかし困難を極めたことだったでしょう。

六角通りを二筋ほど進み右折すると、京都の台所と言われる錦市場に至ります。錦市場は京都市中京区の

ほぼ中央に位置する錦小路通に存在する商店街です。



魚・京野菜などの生鮮食材や、乾物・漬物・おばんざい（京都言葉で日常の惣菜）などの加工食品を商う老舗・専門店が集まる市場です。京都独特の食材は、ほぼここで揃うと言われています。

また、今年生誕 300 年を迎えた天才絵師こと伊藤若冲も、30 歳を過ぎて画家に転じるまで、この地で商いを営んでいました。若冲は実弟に家業を譲り画家に転じましたが、庭で数十羽の鶏を飼い始めると、すぐには写生をせず、鶏の生態をひたすら観察し続けたそうです。朝から晩まで徹底的に見つめつつ、一年が経ち見尽くしたと思った時、ついに「神気」を捉え、おのずと絵筆が動き出したと言われています。



こうして一通りの古都街歩きを済ませて、一同は京都大丸百貨店へ移動し、京の銘菓を土産として買い求め、京都駅へバスで向かってホテルへ戻り解散となりました。参加の皆様本当にお疲れ様でした。

なお平成 29 年（2017）11 月 4 日に、熊本大学工学部は 120 周年を迎え記念行事が実施されます。これを受けて次回悠哉会は、その前後に日程を定め熊本の地で開催されることが、懇親会の席上で決定しました。



お世話は初野君が担当し、奥村君のサポートを得て実施していただくことになりました。次回どうぞ皆様、元気にお目に掛かりましょう。

平成 29 年 11 月 12 日

悠哉会会員　各位

幹事　　初野　恭敬

平成 29 年　悠哉会　報告書

開催日　　平成 29 年 11 月 3 日～4 日

開催場所　　ＡＮＡクラウンプラザホテル熊本ニュスカイ

参加者　　石原只雄・宇梶　洋・奥村　周・鈴木　博・高島　靖・古田文昭

藤田健治・初野恭敬・・・・(合計 8 名　　敬称略)

実施内容

11 月 3 日 18 時 30 分懇親会開宴とし、全員開宴時間に遅れることなく集まった。

懇親会の料理は清正公（馬肉主体の料理）で久方ぶりに熊本の郷土料理を味わいながら約 3 時間弱懇談した。懇談内容については例年健康問題が話題の中心であったが、今回は全くなかった。現在世間を騒がしている神戸製鋼所、座間の殺人事件があるが宇梶君の要望により座間の件は封印､神戸製鋼所は原口君が不参加で詳細.は聞けなかった。話題は、大学入学前の外地からの引き揚げによる留年や就職後の悠哉会会員間の交流であった。参加者の殆どが今回の熊本悠哉会が最終回の心づもりであったと思われるが､幹事より平成 30 年は卒業 60 周年に当たりそれを最終回とする案を提案した。その結果集まりやすい場所は近畿地方とのことで奈良にて開催することとなり、幹事は名幹事の高島君にお願いした。懇親会終了後、ティラウンジにて懇談 23 時に解散した。

4 日は宇梶・高島君は元下宿先へ・奥村・古田・藤田君・初野は熊本城・鈴木君は姉君宅へ、午後の 120 周年記念事業には石原・宇梶・奥村・高島君・初野が参加し

120 周年記念事業は記念講演・専門課程教室の説明、見学があった。その後石原・奥村君・初野は帰路につき、宇梶・高島君は祝賀会に参加した。

写真については、高島君がこまめに撮影されていたので、お願いした。

熊本悠哉会は現有会員 12 名のうち 8 名参加、4 名は体調不良や家族介抱の為参加出来なかったことは残念です。

次回の悠哉会は最終回となる予定です。

今回不参加の方々の早期の回復を祈念し、次回は今回以上の参加者で開催できることを切に願っております。

最後に今回の悠哉会では、遠方で一人幹事であったため、充分なお世話が出来なかったことをお詫びいたします。

以上

平成 30 年 12 月 12 日

第 17 回悠哉会（奈良市にて開催）の報告

2018 年 11 月 28 日～29 日にかけて、身体条件が整わず、やむなく欠席なさった上野君・横山君を除き、奈良市内のホテルフジタ奈良に宿泊の上、少しの観光と、同ホテルのレストラン「若草」において懇親会を催し、9 名が集い旧交を温めました。

簡単にスケジュールを紹介しますと、先ずは 28 日 14:00 にホテルに集合の上、奈良では紅葉の名所として名高い「依水園」と、数々の国宝を擁する「興福寺の国宝館」を訪ねました。

参加者は、石原、宇梶、奥村、高島、初野、藤田､古田の 7 名でした。



「依水園」では、本来ドウダンツツジの紅葉が美しい季節なのですが、やや時期を失し全体的に園内の紅葉は、やや寂しい感じでした。

しかし国指定の文化財に指定された名勝「依水園」は、池泉回遊式庭園であり、文字通り池の周辺に、岩や赤く染まる木々が配されており景観は見事でした。

また同園には、中国古代の美術品、韓国の高麗青磁や江戸時代の書画と焼き物を収集した「寧楽美術館」が併設されており、注目を集めているのですが、審美眼のない私にとっては猫に小判状態でした。同行の皆さんは、如何だったものやら？熱心にご覧の方もおられました。

ついで、奈良公園内を散策し興福寺へ向かい、同寺の国宝館で高名な「阿修羅像」をはじめとする、数々の国宝に指定されている仏像を拝観しました。

仏様は有難いのですが、こうも多いと、何がなにやらさっぱり分からなくなるというのが実感でした。



その後、観光スポットの一つ猿沢の池を経由し、奈良町を歩きホテルへ戻りましたが、その途中に奈良と言えば奈良漬、本場の奈良漬を販売している専門店「山崎屋」に立ち寄り、小半日の観光を終えました。

次に夕刻 6 時より、レストラン「若草」において懇親会を持ちました。この懇親会より、鈴木君、原口君が加わり、総勢 9 名の参加者が勢ぞろいしました。

物故者に黙祷を捧げた後、短い開会挨拶があって、早速に原口君の音頭で乾杯をして、再会を讃え合いました。

懇親会ではアルコールも進み、話も弾みましたので、その話の内容は別紙に収録しています。



なお、今次悠哉会が、会の開催記録として第 17 回を数えるのですが、寄る年波には勝てないという合意があって、今回の卒業 60 周年を記念する第 17 回奈良悠哉会を以て、悠哉

会を終息させることになりました。

その上で今後は集まりやすさを考慮して、できれば地域毎での小さな悠哉会を、開催していくことになりました。

3 時間の懇親会も、あっという間に過ぎ、初野君の締めくくりの挨拶を頂戴した後、奥村君の捧げるグラスで終わりの乾杯をして、最後に藤田君よりの悠哉会解散発議の宣言を以て散会となりました。

その後、解散の侘しさを感じた皆さん、ホテルのロビーでしばし歓談の後、髪を引かれる思いで部屋へ戻った次第でした。

あくる 29 日は、午前中は個々に観光をしていただくこととし、思いおもいに時を過ごしていただきましたが、初日の強行軍もあって、ゆったりと過ごされた方が多かったようです。



幹事を務めた私（高島は）、昨日の依水園が紅葉としては盛りを過ぎていたので、隣接する「吉城園」を訪ねてみました。依水園とはほぼ同じ地域にありますのに、こちらは樹木の種類に違いがあるのか、紅葉最盛期で園内の風景は実に見応えがあり見事でした。

個々の観光をなさる方を、昼食会々場の奈良ホテルへ案内するために、昨日の観光の途次に奈良公園の一郭を、集合場所を定めて周知しておきましたので、そちらへ向ったものの時間に相当余裕があったので、度々訪れてはいるのですが時間つぶしに、奈良国立博物館の仏像館で、数々の国宝、重文の仏像を、昨日に続き拝観し濁世に身をおく私も、心を洗い流される思いを感じました。

予定時刻も近づき、集合場所へ赴いたものの、見慣れたクラスメイトは誰一人姿を見せず、どうしたものかと迷っていた時に、集合時刻の 10 分前（11:30）ほどでしたでしょうか、地元としてお世話のサポートをしてくれていた藤田君より、私を除く全員はもう既に昼食会場に集まっているとの情報をもらい、足早に奈良ホテルへと向いました。

急ぎホテルへ着いたところ、なるほど参加者の皆さんはレストラン前のロビーに集まって

おり、こもごも近況の語り合いに、ふけっておられたようで、それはそれで有意義な時間をもたれたものと思いました。



昼食会の会食は、定刻 12:00 よりスタート、石原君ならびに宇梶君の挨拶、そして鈴木君の乾杯の音頭により会をスタート、和気藹々ランチビールを片手に、悠哉会の最後を惜しみながらも、会話は弾んでおりました。

名残も尽きない一時でしたが、閉会の時刻も迫り古田君の締めで最後の会食を終えました。

その後、国内のクラシックホテルに名を連ね、西の迎賓館奈良ホテルの歩んできた道程を、歩廊に掲示されている写真の紹介でたどりました。皇室ご一家の投宿時の写真の数々、時間の都合でスキップしましたが、ヘレンケラー、アインシュタイン、チャップリン、オードリーヘップバーンほか、誰でも知っている世界の有名人が、このホテルをこよなく愛していたようです。

※日本クラシックホテルの会 加盟ホテル

1．日光金谷ホテル（登録有形文化財・近代化産業遺産・現存最古のクラシックホテル）- 1873 年（明治 6 年）6 月開業。（日光）

2．富士屋ホテル（登録有形文化財・近代化産業遺産） - 1878 年（明治 11 年）7 月 15 日開業。（箱根）

3．万平ホテル（近代化産業遺産） - 1894 年（明治 27 年）7 月 1 日開業。（軽井沢）

4．奈良ホテル（近代化産業遺産） - 1909 年（明治 42 年）10 月 17 日開業、創業時の建物現存。（奈良）

5．東京ステーションホテル（国の重要文化財） - 1915 年（大正 4 年）開業。（東京）

またアインシュタインが弾いたと言われているピアノ、戦時戦後の混乱を免れて、旧国鉄の車両庫に保管されていたピアノでしたが、アインシュアインが弾く写真と照らし合せて、間違いなく戦前奈良ホテルのロビーに置か



れていたものに間違いないことが証明され、現在もその位置に鎮座させられており興味をそそられました。

こうしてクラシックホテルの歴史をたどった後、一同そろってホテル玄関を背景に記念写真を撮りました。



以上を以て、奈良で開催した最終の悠哉会、名残を惜しみつつの散会となりました。

ご遠方からの参加の皆さん、ご苦労様でした。欠席者の皆さん共々どうぞお元気に、毎日をお過しいただきますよう祈念して、第 17 回奈良悠哉会の報告を閉じさせて頂きます。

当会幹事：高島 靖　記

平成 30 年 11 月 15 日

奈良悠哉会で語りたいこと（近況報告）

石原只雄

1.健康状態

現在のところ、特に大きな病気もなく過ごしております。ただし、月１回は定期健診のため近所の病院に通っています。

特に運動や散歩などしておりませんが、自宅から勤務している会社までの約１時間半の通勤時の電車の乗り換えや駅階段の歩行および毎日の食事の買い物等で歩くのが運動に相当します。

2.仕事

現在も、会社顧問（横浜国大発ベンチャー企業）として、週１，２回出勤しています。仕事の内容は、月１回程度（１～1.5 日）のセミナー講師と外部からの研究調査等の指導・報告書作成などです。毎年、中東からの技術研修生を受け入れて腐食に関する講義と実験の指導などを行っています。写真はサウジアラビアからの研修生に実験の指導を行っているところです。（今より大分若く見えますが、５～６年前に撮ったものです。）



研究室にて、サウジからの研修生と共に

現在の健康状態が維持できれば、８５歳までは仕事を続けたいと思っております。

3.最近読んだ本の中で特に印象に残った本

余暇には読書をしていますが、最近読んだ本の中で印象に残ったものを下記に紹介しておきます。

ジョナサン・ウォルドマン著：「錆と人間」

ウォール・ストリート・ジャーナルからベストブック・オブ・イヤーを受賞しており、産業から日々の暮らしまで、さまざまな分野で起こった人類と錆の戦いを、腐食の専門家でもない科学ジャーナリストが大変興味深く紹介した名著です。

ユヴァル・ノア・ハラリ著：「サピエンス全史 上、下」

イスラエル人歴史学者が人類の歴史を、アフリカで進化したホモ・サピエンスがアフリカ大陸の外へと拡がった歴史やヨーロッパと中東で進化したネアンデルタール人が絶滅する歴史などについて洞窟などで発見された壁画等を紹介しながら解説しています。

ユヴァル・ノア・ハラリ著：「ホモ・デウス 上、下」

ここでは、ホモ・サピエンスをホモ・デウス（神のヒト）に変える（アップグレードする）ことについて著者の考えを展開しています。飢饉と疫病、戦争を克服した人類は、今後は不死と幸福、神性の獲得を目標とする生き方をとるであろう。そこで、バイオテクノロジや情報工学などの最新テクノロジを用いて、未来の世界を、そして自分自身をも、思い通りに作り替え、創造することを目指すであろうと説いています。

ウエルナー・ヒンク語り、小宮正安　構成・訳：「ウィーン・フイル　コンサートマスターの楽屋から」

この本は、ウィーン・フイルの元コンサートマスターが語ったウィーン・フイルハーモニー管弦楽団の名指揮者（カラヤンなど）や仲間との思い出、ウィーンの音楽文化などについて語り下ろしたものです。



写真　約１２畳のリスニングルームでのホームシアター（左側手前：アンプ群、この中には自作の真空管アンプもあります。）

4.趣味（余暇の過ごし方）

小さなホームシアターで、手元にあるオペラのＤＶＤなどを時々楽しんでいます。

雑然としておりますが、５.１ｃｈサラウンドシステムで音楽を楽しめます。（写真参照）

１月２４日、サントリーホールでのウィーン・フイルハーモニー管弦楽団の演奏会のチケットが入手できましたので楽しみにしております。

5.日々の生活

一昨年家内が亡くなってからは、しばらくは気力もなくなり、長年続けていましたピアノレッスンや写真撮影などにも興味をなくしましたが、現在は上述しましたように趣味を再開しております。

没一（ボツイチ）になってから生活も自立して（？）、食事の準備から掃除・洗濯、庭の雑草刈りなど全て一人でやっております。

現在の住居は高台にありますので、買い物等には車は手放せません。しばらくは運転を継続したいと思っております。

宇梶　洋

パソコンが Down して原稿作成が滞っているのでとの電話をもらい、次の事項について悠哉会当日に、口頭で報告したいとのことでした。

“最近熊本を訪ねたので、感じたこと”

奥村　周

健康問題

最も気にしている健康については、今年の健康診断では各項目とも、ほぼ基準値内に収まっており安心しています。

一方 10 年ほど前に脳梗塞を発症したことがあるために、その薬をもらうため二ヶ月に一度、病院通いをしています。

日常の生活

囲碁三昧の生活パターンは今も続いています。そのほか読書、小旅行、ボランティア活動も先般報告した通り、継続して行っております。

ひとつ加えれば数独を楽しんでいます。Easy Medium の問題まではなんとか解いていますが、Hard の問題はさっぱり手に負えません。

トピックス

私にとって今年最大のトピックスは、7/末～8/12 の間イギリスを訪問したことです。長女

がウェールズ地方第二の都市、スウォンジーに在住していますので、次女と長男の孫とで訪れました。

旦那はイギリス人でスウォンジー大学の先生をしております。それと娘も日本語教師を、たまにやっているようです。

また近く喫茶店を開くための店の改装を二人でやっていました。



スウォンジー城

夏休みであったため、二週間まるまる旦那が車で案内してくれました。気温は一八度程度で夏とは言え肌寒い感じでした。でも現地の人は半袖、半ズボンで街を歩いていました。

牧場の多いところで景観はのどかな感じの土地柄でした。

ほんとに多くのところを見たのですが一部を記すと、古城、古い電車の乗車、大英博物館、歴史博物館など、ほかに種々の博物館を見て廻りました。またエリザベス女王の館などのある街にも行きました。

遊園地へ行ったり、パターゴルフをやったり、街で食事を楽しんだりで、孫も存分に喜んでおりました。

以上、私の日常なり海外旅行の情報を、お伝えさせていただきます。

奈良悠哉会で話したいこと

鈴木　博

1　この町に住んで



⑴千葉に移り住んで 40 年になる。1,200 戸が暮らすこの町も老年者の転出と若年者の　　転入で様子が少し変わった様に感じる。北側道路の家は南側に大きく寄せて家を配置、北側道路サイドに余裕を持たせて車庫と門の配置を行い、南側の部屋はブラインドを使って見えない様にする。南側の住人から見ると、昔の庭木の眺めがなくなり、気分的には鬱陶しく感じる。

暖房器具類が発達してきた最近の状況から、昔の、太陽光線を家の中に導入して、家相的にも健康な家を目指す考えが変化してきたように思える。南も北も、その住人は幸福と

は言えない様に思うが、如何でしょうか？

⑵自然災害、犯罪対応の自治会活動

この町は自治会活動が比較的活発で、道路や溝、公園の掃除、草取り、防犯活動の巡回、など、活発な活動が行われている。安全で住みよい街は好ましいが、老年の体力では負担が多い。

将来はどうなるのでしょうかと気にかかります。しかし結論は、当面、体力の増強に努力することでしょうか。

⑶家、庭木の老化



自宅付近の街並み

家も、庭木も、家の中の備品類も経年劣化で傷んできて、補修，更新が必要な段階に来ている。

頻繁に歩く個所の床に軋みが出ていて、フローリングの張り替えを考えたが今年は実行できなかった。

庭木も一時期元気が良すぎて、刈込を行ったが、過剰な刈込だったのか、逆に元気がなくなった。何か手入れが必要かと思う。

２ 健康状態

医療機関にはいろいろとお世話になっている。

①眼科は両眼の白内障の手術は完了していて、後発白内障の手術を一眼だけ行った。将来は、もう片方の手術が必要かと考えている。

②内科は定期的に通院、心臓は注意深く見ていく必要があるとのこと。ⅲ皮膚科は定期的に通院

⑵足の痛みには長期に通院し、自分に適した薬に出会えるかが重要で、試用しながらの対応であり、現在は自分に適している薬を入手出来ている状態である。将来とも現在使用中の薬が合うかどうかは不明である。

医学の進歩に期待している。

３ 定期的に病院に通っているが、世の中には色んな病気があって、待合室で待っている間にいろいろと考えさせられることが多い。小さな子供さんを抱えた母親もあり、また逆

にお年寄りに付き添った成人の男女あり、みんな夫々、一生懸命である。

私自身は出来るだけ人の手を借りずに通院できればと願っている。

４多くの方の助けを借りて、又、お世話になって生きてきて、80 数年、最近時々考えるのが、人様にして頂くだけで、自分が人様の為に何かをしたと云う記憶がない。

この世に生まれて多くの方と巡り合って、多くの方にご迷惑をかけたが、多くの方の為に何かをした記憶がない。何処かでお詫びを、又、お礼をする機会があればと考える昨今である。

人様の為に何もしないで生きたてきたが、今後は、人様の為に何か役に立つ様に努力したい。

５　太平洋戦争中の、私がまだ小学生の時期に町内会の防火訓練があり、訓練上の想定の火元として、約４～５メートル高さの枠にルーズベルト、チャーチル、等の似顔絵が描かれている的に向けてバケツで注水する防火訓練が開催された。

子供を背中に背負った状態で母親が参加したが、どこの家も男手がなく、ご夫人の参加であった。この時代の母親は多忙であったし、苦労があったと思うが、面倒だけを掛けて、こちらから面倒をみてあげた記憶がない。

亡くなっている母親に何かをしてあげる事は出来ないが、人様の為に何かをして上げたいと思うようになった。

6　図書館の利用

図書館の分館が近くにあり、取り寄せも利くので、新刊が出たら注文をして、順番待で借りることが出来る。有難く利用している。

（時間がなくて、読めずに返却することもあり、残念）

７　固有名詞、名前の度忘れが多く、困ったものです。

（注：頭の中が纏まらないまま、一応は書いたと云う文ですみません。）以上

高島　靖

（1）健康問題（省略）：2010 年 5 月「心筋梗塞発症」から 8 年を経過し、年 2 回の検診を継続しているが、今のところ異常は認められないし、不具合の自覚症状もない。



本年 11 月 5 日撮影の近影です

遺伝の懸念から、2 回/年の喉頭ガンの検診を受けているが、これも今のところクリアされている。

（2）日常生活（省略）：パソコン三昧、午前午後そして夜、暇な時には殆どパソコンの画面と対峙している。むしろ暇な時を作って、と申し上げた方が適切かも知れない。

政治経済などの時事情報の収集と、ICT（情報通信技術）の新しい動向を常にチェックしている。

その他、パソコンクラブ 1 回/月と地域卓球クラブに所属し 2 回/週参加している。

1）パソコンクラブでは、Word や Excel の基本について、初心者へのお手伝いをしている。また最近はやりのクラウドについても、解説と実務（OneDrive）の紹介をした。

2）卓球では、勝つことは稀である。

（3）本年のエンターテインメント（省略）

1）コンサート（クラシック）：オーケストラ主体に、ピアノピアノリサイタルなど、8 回

2）演劇：2 回

3）映画：1 回　「北の桜森　吉永小百合

4）美術展：5 回　京都・大阪・兵庫　横山大観展ほか

（4）私の終活の第一歩（お話したいこと）

エンターテインメントの項でも述べましたが、音楽を聴くことは私にとって欠かせない趣味の一です。

これより先、体の自由が利かなくなり、コンサートホールへ出向くことが困難になった時、より手軽に音楽を聴くための方策を考えました。

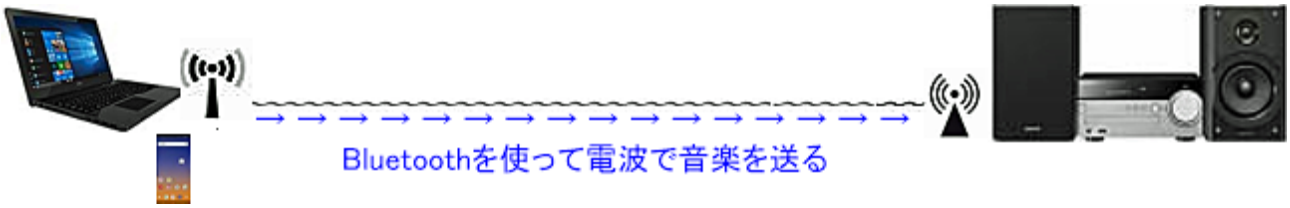
最近は CD で音楽を聴くよりも手軽に、インターネットを通じて配信される**音楽ストリーミング**を聴く手立てが、非常なスピードで普及してきました。

ストリーミング（Streaming）とは、Stream が小川、流れ、連続などの意味を持つ言葉ですから、文字通り「尽きることのない小川のせせらぎ」と言ったところでしょうか。

そういえばラジオの放送も、一種のストリーミングでしょう。ですから、ストリーミングとは、こんなラジオ放送をイメージしてみればよいでしょう。もちろん、ラジオ放送は一旦流してしまえば、再放送が数回あるかないかで、聞きそびれてしまうところが、音楽ストリーミングとは大きく違うところです。

CD で音楽を聴くには、聴きたい CD を選び出し、それをセットする手間が必要ですが、音楽配信を利用すれば、パソコンなりスマートフォンで、音楽を選択してやるだけで済みます。

現在では、パソコンで受けた音楽を、無線の近距離通信を可能にする技術ブルートゥースを使って、ブルートゥース機能を有するオーディオに電波を飛ばし、そちらで受信してオーディオ装置により、CD 並みの音質*の音楽を聴くことができます。私の実施例は次の図の通りです。



音楽配信サイトとしては、Apple、Sony、Amazon など 10 くらいあり、価格は各社概ね 1000 円/月未満です。

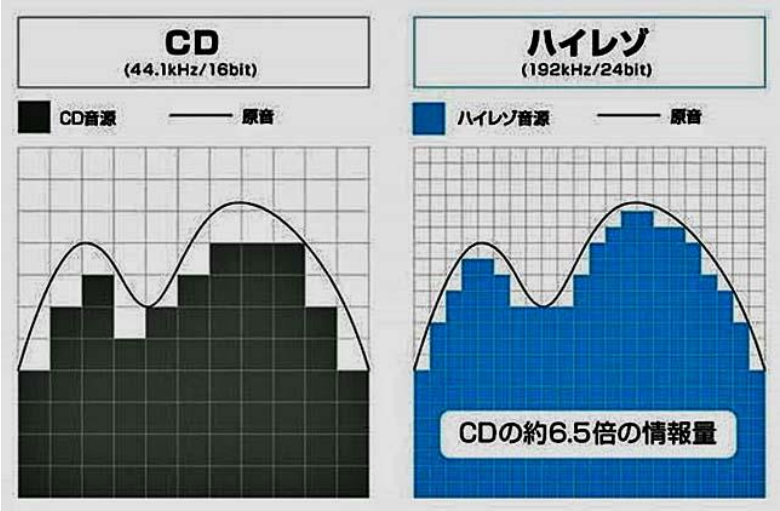
つまり、一日当たり 30 数円の料金で、365 日毎日 24 時間、あらゆる好みの音楽を楽しむことが出来るという具合です。

将来的にはスウェーデンの企業で、配信曲数は 4000 万曲以上を誇り、クラシックに強い Spotify の利用を予定しています。

現在はまだ足腰に不自由はないので、Amazon プレミアム（年会費 3,900 円の会費で、全商品送料無料のサービス）を使い、これに付随して提供されている 100 万曲以上の音楽を楽しんでいますが、これでも結構数多くの音楽を聴取することが可能です。しかし極終末期に至ると、音楽はうるさくなり必要はなくなることだとも思っています。現在でも風邪で寝込んでいる時に、音楽を聴く気にはなりませんからね。

*最近ハイレゾという言葉を、よく耳にするようになりました。ハイレゾとは High-Resolution Audio のことで、「高解像度」を意味します。（陰の声：Hi-Fi に惚れ込んでいた時代が懐かしいですね！）

ハイレゾは高解像度による音声のデジタル化によって、音楽用 CD を超える高音質を達成した技術と言ってよいでしょう。ＣＤとハイレゾのイメージ原理を簡単に紹介すると、次ページの図のようになります。



デジタルの世界では、電気の「On」と「Off」を 2 進法で処理するので、不連続な数値で表示されます。

これを仮に図として表示するとすれば、上ページの図のように、単位時間当たりの音域レベルを、柱状（Column）で示すように記録されます。

図を見ると、CD に対してハイレゾは柱の幅が狭く（細く）なっています。

この幅を限りなく「0」に近づければ、アナログのカーブに、より近づく結果が得られるでしょう。

現在のハイレゾの音質を評価するために、音楽の専門家にブラインドで CD とハイレゾの再生音楽を聴いてもらうと、的中率は概ねフィフティ・フィフティともいわれ、聴力の衰えた私にとっては過ぎたる高音質だと思い、当面は見送っています。

また新しい技術として、デジタル音源はレコード音源に比べて、硬いと言われてきた問題について、レコードのシャーとうスクラッチノイズ、これをデジタル音源に低レバルで混ぜてやると、音質がマイルドになるそうで、こうした技術が今後のオーディオ機器にも、付加されていくそうです。

（５）12 月 1 日（土）に第 6 回関西連合同窓会が、大阪の太閤園を会場として開催されます。これまで継続して出席してきたので、今回もエントリーの申し込みを行なっているところです。学長はじめ大学院（各科教育部長）ならびに各学部（学部長）ほか、学科単位で主任教授が参加される催しです。

工学部としては前回の出席は 65 名でしたが、冶金科（金属系）は全学年を通じて 2 名、これまでの 4 回の開催がありましたが、金属系の参加者は僅かです。

（６）悠哉会メーリングリストについて：皆さんに余り活用されてもいませんので、2019

年３月末をもって、終息させることに致します。

（７）第１回よりの悠哉会を記録したファイル（相当分厚いファイル）の保存、この財産の今後についてご意見を伺いたいと思います。⇒結果は奥村君預かりとなった。

原口俊雄

（１）今年４月まで、約５０年間ゴルフの球を追いかけて走りまくっていましたが，もう止めました。４月に両膝関節痛になり，専ら注射とリハビリに通院していますが、思うように良くならず、イライラしています。年と共に少々気短になりました。最近　前歯３本抜き、入れ歯を取ると薬が飲みにくくなり、初めて体験することばかりですが,「年令」つてこんなものかと痛感しています。

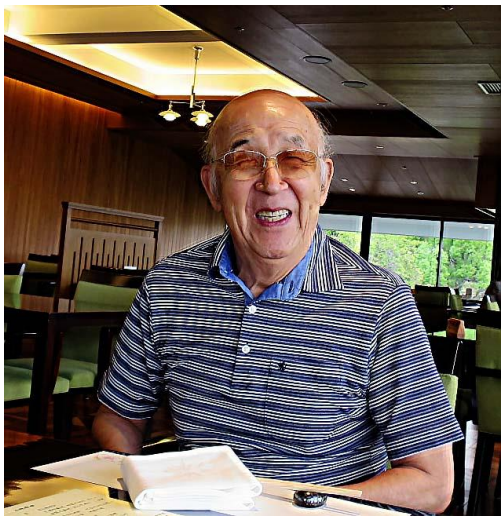


（２）日常は専らテレビで　野球　相撲　ゴルフ　時にはチヤンバラを見て楽しんでいます。パソコンは根気がなくなり　トランプゲーム「フリーセル」とゲームばかりで、雑誌では　数字合わせの「数独」に数年前から凝っています。

（３）大好きだったランの育成も　気持ちを察してか　数鉢になりました。今は夕食の１，５合の日本酒が待ち遠しく、楽しんでいます。

悠哉会の解散で思うこと

藤田健治



奈良ホテル 花菊にて

今回が最終となる悠哉会の開催が、関西を代表する1300 年歴史を誇る古都奈良で開催されますこと、地元の一人として大変喜んでいます。

大学を卒業して以来６０年の長きにわたって続けてきました悠哉会（同窓会）ですが、会員各位の高齢化に伴って、会への参加が難しくなられる方も増えて参りました。皆さん方には、悠哉会をこのまま続けながら自然消滅を待つのかあるいは何時か折を見て解散するのか、それぞれが考えておられたことかと思いま

す。そのような中、昨年の熊本悠哉会で「卒業 60 周年を機に悠哉会を解散しては」と云う提案がいみじくもなされ、参加者一同の了解のもとで今回が最終会となる奈良悠哉会の開催となりました。

２年前の京都悠哉会の参加者全員が揃って出席されている今回の状況を見ると、まだまだ悠哉会は続けて行けるのではなどと考えたりもしますが、十分な余力を残してこの機に解散するのは会としての美学であり潔い計らいだったかと考えます。

昭和２９年４月熊本大学での皆さんとの出逢い、共に学び共に親しんで過ごした４年間、そして今日に至るまでの 60 年間、それぞれが私にとって貴重な財産になっています。顧みると在学中から幾度となく挫折を経験しながら過ごしてきた私の人生ですが、今日があるのは在学時代に学んだ多くのことが支えになっているものと思っています。

専門課程の授業では冬のさなかの寒い一日、暖房のない教室でオーバーと手袋にくるまって、堀田教授の製造冶金学の講義を懸命にノートしたことや、また堀教授の鉄鋼概論ではいきなりエントロピー、エンタルピーが出てきて、先生の説明を直ぐには理解できずに戸惑ったことを鮮明に覚えています。エントロピーが「熱力学における不可逆性の度合いを数値化したもので、日常生活には無用のものであること」や「エンタルピーが単に熱量であること」を知るまでにはその後かなりの時間を要しました。

代返を頼んで授業を怠ったりしたこともしばしばありましたが、それなりに勉学にも励み皆さん共に過ごした４年間のすべてが最良の思い出として記憶に残っています。

この度の悠哉会解散に当たり、改めて昭和２９年春の出会いの意味を再確認しながら、皆さんとの別れを惜しんでいます。

悠哉会を通じて培ってきた友情は永遠に不滅であり、解散後も更なるご交誼を切に願って止みません。

==========

欠席者の現状

9 月 27 日 **上野策光夫人**

いつもお世話いただき有り難うございます。

夫 策光は盲腸炎の為入院中で手術予定となっております。

初期の段階ですので、心配はないそうです。

今後ともよろしくお願い致します。

11/19 近況を電話で尋ねた。

ご夫人が出られ、策光君はまだ入院中とのことだった。

本人はいたって元気とのことだが、盲腸疾患にしては入院が長すぎると考えたが、宜しく伝えて欲しいと述べ電話を切った。

9 月 27 日 **横山栄一君**

大変世話になっています。

光陰矢の如し 60 年、最後の悠哉会開催で、参加希望の皆様方は、さぞ楽しみに期待していることと存じます。

小生大変残念です。欠席します。

足腰悪く、外出は殆どなく、新聞とテレビ（囲碁チャネル）の毎日です。ボケ防止にと、月に 4～5 回は町内の同好会で楽しんでいます。

皆様方健康に留意され頑張って下さい。

石原:(お便りより)

(1) 奥様の健康に問題があり、通院に付き合う毎日です。

(2) 地震について:実家が大津(熊本空港から直線距離にして3㎞程度)にあり、実家から半径500m内に、私の兄達や妹の家族が住んでおり心配していたが、家の内外の被害は多少あったものの、家族全員が無事なることを知って安堵しています。

宇梶:

(1)イギリス見聞記

昨年9月、イギリス在住18年の長男夫婦を訪ねて10日間滞在。

イギリスの国土面積は、日本のおよそ2/3(本州と四国を併せた程度)。可住面積は日本が3割に満たないに対して、イギリスは8割以上がなだらかな丘陵地。 しかも人口は約6000万人。

築400年の家のまわりも見渡す限りの牧草地で、野兎にリスが飛び跳ねての田園風景。

殆どの観光地には訪れず、専らフリスビーで牧羊犬と戯れ、暖炉用の薪割りを楽しみ、の滞在でした。



世界最古の鐵の橋 Iron Bridge

(2)娯楽?

囲碁、将棋、マージャン、パチンコ、競輪、競馬には疎く、現在は専らテレビ漬け。

幼少時代の戦時中は、飛行機乗りに憧れ、受験時代は医者になりたかったが、実力を知り断念。

(3)歯・目・○○

歯:8020を誇っていたつもりが、最近富みに経年劣化。 口をあんぐり開けてガリガリの苦痛を思うと躊躇。

目:昨年白内障の手術。 日帰り手術をやる病院があると聞くが、2泊3日の入院。感染症を最大限防止が狙いとか。眼薬による麻酔の効果抜群、薬学部を見直した。「乱視がひどいと術後も眼鏡不要とはなりませんよ」と、念押されたとおりでした。

○○:??

(4)老老生活

102歳の義母と同居。

このマンションでは、老齢(65才以上)化率44%。 我が家もその一翼を担っています。

(5)ノルディックウォーキング

(2)の楽しみを続ける為に、近くの公園(里山風)で週に2回のペースを、今月から始めました。

(4)の下降線を幾らかでも緩やかに出来ないかの願いを込めて。

奥村:

(1)碁会所通い

月2回の休日以外は、毎日午後いっぱい(午後7時まで)を、碁会所で過ごし研さんに励んでいます。そのため午前中は朝日ならびに中日新聞 2 紙記載のプロの碁を学ぶため、棋譜通りに碁石を並べて、研究に余念のない生活をして

います。

(2)健康について

特に具合の悪い所はありませんが、年相応に体が弱っている自覚はあります。こんなこともあって、自動車運転免許証の更新時期にあたって、免許証は返上しました。

碁会所は電車で二駅のところにありますが、健康のため片道 30 分往復で 1 時間のウォーキングを欠かさずにやっています。

同年輩の知己知友の訃報に接する機会も増え、寂しさを禁じ得ない今日この頃です。

(3)楽しみ

①家族での小旅行、日帰りが主ですが花見などに類するイベントに出掛け楽しんでいます。

②庭の手入れ、草取りや落葉の除去など、きれいにすると身も心も爽やかになります。

(4)ボランティア活動

ここ 4 年ほどになりますが、月金の週 2 回、放課後の 3 時から 1 時間、近くの小学校で 1 年生、2 年生の児童 25 人を対象に、宿題やら体育館でのボール遊び等の相手をして、私も若返りを図って楽しんでいます。一応わずかな報酬がありますが、これは有難く頂戴しています。

(5)地震について:熊本市南区の姉の家の壁が落下し、住むのに難儀しているが、その他実家の面々は無事だった。しかし、聞くところによると想像していたよりはひどい模様で、今後が心配です。

鈴木:

(1)最近感じていること

最近、何か時間に追われている様に感じる。物忘れで探し物が多いことや、緩慢な動作が影響していると思うが、時間的にも精神的にも余裕がない。

その大半は家事を処理する大変さに原因があると思う。自分が処理する様になって初めて家事の実態を感じている次第。

家事には実に多様な仕事が含まれる。食材の入手から、古くなった家の手直し作業など、気付いた作業は全て対象になる。頭も身体も家事が出来る程度の状態は維持したいと願っている昨今である。

(2)健康状態

①医療機関には一通り通院している。最近、市の健康診査診断では血流改善の服薬を勧められた。私の年齢で服薬をしていない人はこの町にはいないとの話であった。

②眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、内科、整形外科など　時々お世話になっている。

(3)図書館の利用

最近出版されている本を図書館から借りて(順番待ちだが)、寝ながら流し読みしている。最近の対象分野は健康、食事、食材、調理でも忘れることが多いのが問題である。

(4)男の料理教室

時々参加している。

(5)地震について:熊本市には年寄りが住んでおり、応援が必要と考えていたが、地震の先行きが判断できず動けず悶々としています。

髙島:

(1)健康問題

①心筋梗塞発症後 5 年を経過し、半年ごとの定期検査は解除された。

②逆まつ毛対策で両眼の目蓋上の皮膚を数ミリ切除→効果確認中。

③加齢のせいか風邪を引いた場合の回復に、相当の日数を要するようになった。

(2)健康保持対策

①極力ウォーキングを実施。歩幅を大きく取り、ふくらはぎや足首に負荷をかけるように努めている。

②卓球 2 回(半日)/周に参加し、フットワーク維持に努めている。

以上(1)＆(2)に関する発言は省略

(3)地震について:熊本市、菊池市に甥と姪が住んでいるが、幸い無事に過ごしています。

(4)(お話したいこと)インターネットでの情報収集

①MOOCs(Massive Open Online Courses)これはハーバード、MIT が世界先駆けて始めたプログラム。世界に向けて講座を開放して学んでもらうシステム。但し単位は取れない。(時間配分 1 分)

②JMOOC、これは日本版 MOOCsで、日本語による大学レベルの講義について、インターネットを通じて学ぶことが出来る。(時間配分1分)

③大学の授業形態→反転授業(flip teaching)、講義を動画で配信し自宅で学び、復習を大学の教室で行う手法。

●会ではこの 1 点のみに絞り反転授業のサワリ部分を紹介したいと思います。(時間配分 5 分) 持ち時間は 5 分ですから、事前に教材の動画を送りますので閲覧していただきます。

・義務教育には適しない。

・教育形態と政治経済への影響→天地人。

初野:

(1)容姿がよくなった。

緑内障, 黄斑性変形症のため7年くらい女医さんの眼科に通っている。昨年白内障手術、黄斑性治療の注射をし、その後視力検査の際左目の眼瞼下垂が邪魔をしていることがわっかった。

今年の初め、女医さんから眼瞼下垂の整形手術が可能と言われ、3月に手術をした。その結果完全ではないが容姿がよくなった。

早く手術をすれば人生が変わっていたかも？(容姿の件で、引け目に感じたりいじめられたりと感じたことはない)

(2)近所のご婦人方(昔の御嬢さん)と仲良くしています。

月2回料理クラブに通っています。また地域に長く住んでいるので老人会の世話をしている関係上ご婦人方の知り合いが多い。

料理クラブでは食生活改善推進委員と2～3回／年　合コンを楽しんでいます。(男性5人、女性15人)

(3)健康問題

色々な生活習慣病をもっているが体調は良い。筋肉の減少で立ち上がりや片足作業で年を感じています。

気がかりなのは腎臓疾患で今の食生活を続けると5年後には透析になると脅かされている。動物性蛋白質を減らすことを心掛けているがなかなか難しい。

原口：

(1)何とか元気にしております。ときにはゴルフの練習に出かけ、また約 30 分の散歩は 1 日おきくらいには続けています。

(2)しかし女房が今年に入り身体を壊し、病院通い、入退院を繰り返しており、その対応に大わらわしています。早く元気になるよう、頑張らせています。

(3)もうお互いに、高年齢であり、年は取りたくないものだと、つくづく思います。残り少ない人生を、出来るだけ元気で楽しみましょうね。

(4)家内の体調が思わしくなく、入退院などで忙しくしています。

(5)地震について：本籍が震源の益城町で何人かの親戚います。家が何軒かやられたが、怪我人はなく幸いでした。応援もままならずいらいらしています。

藤田：

(1)今回の京都悠哉開催にあっては、幹事役を務めさせて頂きました。なにぶん仕事を離れて久しく、企画立案に少なからず戸惑いましたが、幹事間で種々意見交換しながら、まとめることができホットいたしました。5 年前の有馬悠哉会以来のことで、皆様との再会を楽しみにいたしております。

(2)健康については、一昨年の 80 歳の年に体調を崩しました。その年は、まず 3 月頃に腰を痛め、次に足に来ました。元来足腰が弱いので、体の弱い個所にダメージが顕在化するような気がしました。6 月には悪くしていた眼がより見えにくくなって、もうこれまでかと思いましたが、運よく回復することが出来ました。年の瀬の 12 月には、今度は突然手足に麻痺を感じて気分が悪くなり、家内の車でかかりつけの病院にかけつけました。診て貰ったところ、脳梗塞の疑いで、早速入院と云うことになりました。もともと脳も弱かったので、やはり来たなと思いました。麻痺の症状はすぐに消えたのですが、MRI の検査結果からも診断に間違いなしと云うことで、血流を良くする薬を点滴するだけの治療で 10 日間ほど入院して、大晦日の前日に退院させて貰いました。80 歳は、私にとっては一つの節目だったのでしょう。この年は全く散々でした。しかし、昨年一年間は順調に過ごさせて頂き、現在に至っております。

(3)昨年から親しい友人の影響もあって、これまでは CD でしか聴くことのなかったクラッシク音楽を、コンサート会場に出向いて鑑賞するようになりました。とりわけ音響効果で定評の高い大阪のフェステバルホールの会員になって、最新のコンサート情報を取り寄せているこの頃です。

(4)あとは週 3 回程度、健康維持のためプールに出掛けて少しばかり泳いだりして、過ごしております。「もう少し有意義な生活を送らなければ」とは思うばかりで、遅寝遅起きの気儘な毎日を送っております。困ったものです。

(5)地震について：母の出身地が阿蘇の高森で、親戚は何軒かありますが、幸いにも人災には遭わず無事でした。

古田：(お便りより)

(1)加齢と共に、体のコントロールがままならなくなって来ました。何とか日常生活を維持できるように、日々の生活を細々と過ごしています。

坂井君からの便り

奥村　周

拝啓　長かった梅雨も開け、これからは猛暑の連続になります。

貴兄には如何お過ごしでしょうか。知多半島の中央の都市に、穏やかにお暮しのことと思います。



私は、次は自身の幹事の当番という大事な時に、成人病を患い、元来は血圧が高く 75 歳（後期高齢期）頃からは、腎臓、肝臓と次々に異常を発症、役目を果たすことが出来ませんで、そのことが今も心に重くのしかかっています。

最初の入院のきっかけが、武雄市役所から、「後期高齢者健康診断」の通知です。どこも悪くないのにと思って、放っておいたのですが、暮頃に督促の通知があり、年明け 2 月頃に仕方なく武雄市民病院（今は新武雄病院になっています）に受検に行った所、最初の CT（レントゲン全身撮影）検査で即入院となり、そこで 1 週間過ごしました。

検査結果では、脳の前方右側に出血の痕跡があるとのこと、その後退院は認められましたが、痙攣を起こして倒れ、検査、治療などで入退院を繰り返しましたが、この 2 年余りは、通院のみで今は自宅で過ごしています。

現状、朝夕に服用するのは、痙攣をとめる薬、血液をサラサラにする薬、狭心症の薬、血圧を下げる薬、尿酸を抑える薬、食後の血糖値の上昇を防ぐ薬の六種類ほどあります。軽い散歩ぐらいで、体を鍛えるような運動は禁じられています。

こうした実情からは、医療産業の一方的な大興隆ぶりに、患者側の疑問の余地もあります。

別便（出欠の問い合わせ葉書）でも申告しました通り、済みませんが欠席とさせていただきます。

知多半島ということで今更懐かしく思い出しますのは、昭和 34 年頃でしたか、まだ静岡県の航空自衛隊浜松整備学校時代、初級整備コースの同級生に、いい加減な話を聞かされて知多半島出身の人と、2 人で大阪から汽車に乗って出かけたことです。

知多半島を一周するつもりだったのですが、途中で日が暮れてしまい、やはり友人から聞いていた西岸の「切れ目」という所に降りたのですが、その時には既に宿もなくて、普通の家に泊めてもらいました。最後に知多半島の東海市西屋敷に、今もお住まいのお宅に、泊めていただき、大変お世話になった思い出があり懐かしいです。

また、この旅で引き続き翌日から、和歌山南紀へと足を延ばし、潮ノ岬、白浜、串本では海女の実演も見学しました。

失敗も今から思えば微笑ましく懐かしい、青春を飾る私の大切なな思い出です。

現況、全ての病気は薬を服用することを前提として、小康状態にありますが、体力は 15 分歩くのが限度ということで、かなり落ちているように思います。

悠哉会には欠席しますが、会員の権利は確保したいと思います。再び参加する機会がくることがあるよう願って、療養を続けていきます。

貴兄をはじめ、悠哉会のメンバーにも元気に夏を過ごしくださるよう希望します。　敬具

坂井　正

奥村　周様
悠哉会　ご一同様

平成二十六年　盛夏

令和２年２月18日

堺英輔君夫妻の想い出

高島　靖



堺英輔君はクラスメイトであると同時に、一時期寄宿先の家でご一緒した仲間である。勉学が趣味かと見まがうほどに勉強熱心で、たまに近くの墓地公園（小峰墓地）を一緒に散策した時でも、授業の話に熱が入る様だった。

そこへ行くと小生は手製のラジオを、中古電気部品屋のジャンクボックスから部品を調達し、少しでも多くのチャネルが聴け、多少なりとも音質改善させたいと力を入れて、音楽を楽しむのが趣味だったり、寄宿先の親戚のお嬢さんが、同じ宅内に住んでいたので、少々親しく話をしたりと、英輔君とはおよそ対極の生活だった。

そのようなこともあって、英輔君も元宮崎県知事の東国原氏ではないが、「ドゲンカせにゃいかん！」と、多少恋のお手伝いをしたものだった。

無い知恵を絞った結果、「そうだ高校で活動したクラブに、聡明で品のよい後輩（旧姓平川さん）がいた」ことに気づいた。早速英輔君にデイトを勧め、乗り気でなかった彼を説得し何とか紹介するに至った。

そこは良くしたもので、話が合うのか英輔君から、「時に、君は彼女と何か特別な間柄でも・・・？」と問われたことがあった。「シメシメ話はうまく進んでいるようだ！」もちろん紹介するには、「そのようなことはないとよ」と答えたが、その時の彼の安心する顔が印象的で未だに瞼に浮かんでくる。

卒業して彼は「大阪製鋼(株)：現合同製鐵(株)に就職し、ほどなく高島君の紹介してくれた女性と結婚したとの通知があった。姫路に住んでいた小生は、同じく同期で大阪在住だった宇梶君に声をかけ、お祝いがてら一度訪問することになった。

久々にお目に掛かった新婚の主婦多喜子さん、英輔君は製鉄会社勤務なので、私もそうだったが、新入社員は夜勤を含む交代代勤務で、土日関係なく仕事務めをしなければならなかった。

今日のようにインターネット経由の連絡手段があるわけでもなく、電話さえも自宅に引くことは難しい時代、連絡なしに訪れて相手がいる保証はなかった。

当然のことながら旦那は勤務で不在とのこと、留守中ながらお誘いを受けて、上がり込みお茶などいただき近況を話し合ってから、「旦那によろしく！」伝えてと、ほどなくお宅を

辞した。宇梶君とぶらぶらしながら飯でも食ったか？その辺りはあまり覚えがない。

いずれにしても、仲良くお過ごしだったが、机の上に「鉄と鋼」の技術誌がポンとおいてあり、新婦は「主人はチットも勉強しないんですよと。」と心配げだった。あの趣味が勉強の彼も、新婚生活の甘みを存分に味わっているものだと感心したり、悔しがったり・・・嗚呼（ああ）！

それから幾星霜、年賀状の末尾だったか、体調を崩したとあった。あの頑健な英輔君がと、いぶかしく思って電話をしてみた。すると奥様が出られ容態を聞くと、英輔君本人が電話口に出て、「いやぁ参ったよ～、しかし持ち直して今では平常な生活だ」と笑っていた。

安心して電話を切ったが、ほどなくして訃報に接することとなった。循環器系の病だとのことだったが、残念なことに持ちこたえることは出来なかったようだ。

かく言う小生も心筋梗塞で 2010 年に手術を受けたが、凡人長生きするものだ。年 2 回の各定期検診を目下のところクリアしている。

さて英輔君に先立たれた多喜子夫人は、お嬢様お二人*とも縁あって、海外にお住まいとのこともあって、ご自宅をたたまれ将来を見据えて、「ウィルマーク香椎浜」という医療サポートも充実している新しい立派なホームに、お住まいになっておられる。主人とは喧嘩ひとつしたことなく、よい思い出ばかりだった、とのお話があった記憶が未だに新しい。

ご主人を弔いつつ、遠く離れたお孫さんたちに思いを馳せ、しっかりとした生活を送っておいでのようだ。

以上、堺英輔君ご夫妻にまつわるエピソードを添えて、英輔君の霊に親しく声をかけてみたい！と思いつつ筆を置きたい。

*ご長女様はアメリカ シアトル在住、ご次女様はカナダ ヴァンクーバーにお住まいだそうです。

大野和彦君の思い出

奥村 周

嘗て私の勤めていた会社「現クロダイト工業(株)」で、製造した製品でのクレームを発生させたことがありました。製品は、タンカーの輸槽管の継ぎ手部分です。納入先が三菱造船所長崎でした。工場長の職にあった私（奥村）は、早速作業員 2 名と同行して現地に赴きました。

輸槽管は既に敷設されており、現品はタンカーの船底にありました。

作業は顕微鏡検査をして、ダクタイル鋳鉄の材質の良否を判定することです。

梯子の長い階段を下りて、船底まで行き、作業を行なう数日を過ごしました。

この造船所には、同期の大野君と堺君の二人が勤務されており、堺君とは会う機会はありませんでしたが、大野君とは初めから面会が叶い、お会いしていました。

そんなある日、大野君にお誘いを受け、彼のお宅を訪問させていただき、夕食を共にして語り合う夜を過ごして翌朝帰りました。

家庭にまでお招きをいただいたのは、彼のみです。奥様には、この紙面を借りてお礼を申し上げます。

尾田幸典君とは囲碁仇（親しみを込めて）

奥村 周

遠い昔の大学生の頃、国道 3 号線沿いにあった私の姉の家に、尾田、上野の両君が立ち寄ってくれました。3 人で囲碁を楽しみながら夜を過ごして、翌日帰って行かれました。

その後、第 5 回悠哉会の中京地区開催の場所でも、久しぶりに 3 人で囲碁を打ちました。

これが３人の共通の趣味でもありました。

このときの勝負は、尾田君に対しては私の方が負けてしまい、それほど彼の棋力の上達のスピードが早かったのを覚えています。



高木幸雄君のこと

奥村　周

昭和 30 年代の終わりの頃、彼が勤めていた関東製鋼の群馬県渋川市にあった工場を訪問して会ったのが、最初のことでした。

その後、大同特殊鋼㈱に合併されて、東海市名和町濁池団地の方に引っ越してこられました。

同期会の中では中部地区は彼と私の 2 人だけだったので、この地区での開催の順番になった時、つまり第 5 回悠哉会の幹事を担当したのが、高木と奥村でした。

打ち合わせのため、彼の下を訪ねて行きました。団地近くの公民館みたいな所で合って話をして、まとめました。その方の記録は、悠哉会第 5 回報告の欄にあります。

普段は近隣のお年寄りの皆さんと、グランドゴルフを楽しんでおられました。奥様が出先から帰られた時、トイレの中でお亡くなりになられていたとお聞きしました。

お葬式には、宇梶、初野の両氏と参列しました。一周忌には、皆さんから預かったお心づけを持って訪問しました。

現在、濁池団地には家族の方は住んでおられず、連絡が取れていません。娘さんがおられたので、そちらに行かれたと思っています。

佐藤有一君に寄せて

奥村　周

昭和 30 年代の終わりの頃、私は東京都港区芝三田網町にあった会社の営業所に、勤務しておりました。

当時、彼佐藤君は東京都目黒区中目黒にあった科学技術庁に、勤めておられました。私の会社は上水道の鋳鉄管の継ぎ手類と、自動車部品を主に製造していた鋳物工場です。

彼に頼んでダクタイル鋳鉄の疲労試験を、庁舎の試験機を借りて実施することが出来ました。

朝、田町駅から中目黒駅まで電車に乗って、庁舎を訪れて試験機の動いていることを確かめて、又夕方に、それを確かめて帰る日々を重ねていました。何千時間という試験になるので、テストピースは破断することなく、途中でこのテストは取り止めました。

そんなことが縁で、ある時彼が愛知県碧南市にある私の起居している所を訪ねて来てくれました。当時の私は独身で、本社と同じ場所にあった家に住んでいました。社長のお母さ

んが居間の方に、私が座敷で過ごしていました。

夜、一緒に夕食を共にしました。彼は女中が運んできた食事の類には、一切手をふれませんでした。酒が彼の夕食でした。

後にも先にも、彼ほど酒好きな人を他に知りません。

酒を飲みながら、一晩楽しい時を過ごし、座敷で一緒に寝て、翌日帰って行きました。

佐藤君の家族との連絡がつかなくて、私のこの思い出の記で、この欄を埋めさせていただきました。

上野作光君のことども

奥村　周

彼は現在（2020 年 3 月)、入院加療中であり、今回奥様からお手紙をいただきました。

当方から質問形式に、お答えをしてもらいました。

① なれそめは？　　知人の紹介

② 新婚旅行先は？　　別府

③ 趣味は？　　囲碁、ゴルフ

④ 主になされていたこと？　　友人と食事、囲碁、ゴルフ

==========

追記

奥村　周

科学技術庁金属材料技術研究所には、佐藤君の他にもう一人、同期の石原君がおられました。

その後、研究所は平成 7 年に筑波研究学園都市に移転し、平成 13 年 4 月から(独立行政法人)物質・材料研究機構と改称されています。

彼とは中目黒時代には、会っていませんでしたが、つくば市の方に訪問して、面会しました。その時当社「現クロダイト工業(株)」での講演をお願いして実現しました。

南知多の旅館で一緒に夕食を共にし、屋上の露天風呂を楽しみながら、窓から見た夕焼けが、とても美しかったことが目に浮かびます。

彼には、今回沢山の助言を頂き、又いろいろと手助けをしてもらいました。有難うございました。

編集後記

今回連絡のつかなかった会員は、佐藤有一君、堺英輔君、高木幸雄君の諸氏でした。

取材の中で得た情報のうち、個人情報の保護のため記載しなかった項目があります。

また連絡が取れなかった個人の家族からは、情報が得られませんので、編集者との係わりの中から、文章を記しました。

なお、堺英輔君の奥様の住所は、高島君から聞き本会誌をお送りすることにしました。

それと猿渡先生を、勤務先の東京都墨田区内にあった工場を訪ねて、面会したことを付記します。

諸先生方々との音信も絶えて久しくなりました。心より哀悼の誠を捧げたいと存じます。

この時期に会員の皆さんや、奥様方のご協力が得られ、この会誌を発行することが出来ました。
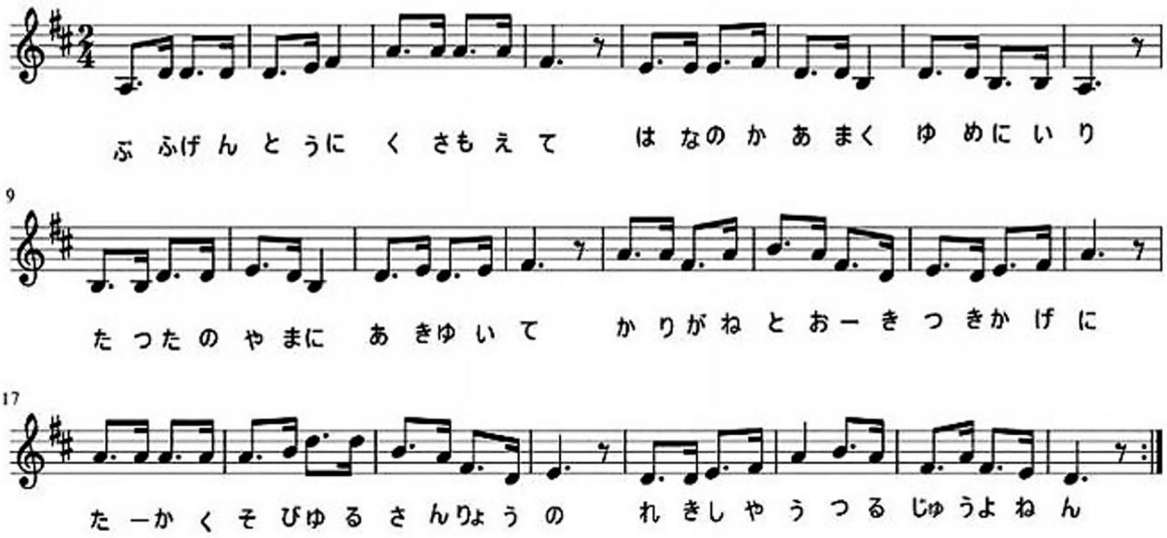
ご面倒をおかけした方々に、厚くお礼を申し上げます。

ことに高島君には、原稿が彼の筆によるものが大多数なのと、発行に際して多々の助言をいただきましたことを記しておきます。

一部を熊本大学工業会にお送りいたします。

奥村記

五校寮歌　　作詞・恵利　武：作曲・東京音楽学校



五校寮歌「武夫原頭に」

武夫原頭に草萌えて　花の香甘く夢に入り
竜田の山に秋逝いて　雁が音遠き月影に
高く聳ゆる三寮の　歴史やうつる十余年
夫れ西海の一聖地　濁世の波を永遠に堰き
健児が胸に青春の　意気や溢るる五高魂
その剛健の質なりて　玲瓏照らす人の道
時潮の巡りたゆみなく　移りてここに十年の
思いや狂う湖北の地　断雲乱れ飛ぶ所
斬魔の剣音冴えて　スラブの末路今ぞ見ん
時艱にして義を思い　塵世に節を偲ぶかな
ああ新興の気を負いて　浮華の巷にわれ立てば
思いは馳する木訥の　流風薫る銀杏城
さらば我が友叫ばずや　時と人とを諭すべく
見よ龍南に一道の　正気ありてぞ日の本の
青年の名に力あり　二十世紀に光あり
二十世紀に光あり

工友健児必勝歌　血をすゝり涙して

巻頭言

仰げば星斗欄干として　永遠の真理を囁き
頭をめぐらせば　蘇山炎々として　若人の情熱を語る
自然の恵豊かなる肥後の一角　立山の麓白川の畔
天地の精気漲りたてるもの　之我が工友健児なり
いざや謳わんかな　我等朴訥の工友必勝歌を
血をすゝり涙して　eines　zwei　drei

工友健児必勝歌　血をすゝり涙して
血をすゝり涙して　勝ち得し御旗濁世の最中
燦たる光　見よや紅の旗頭　工友健児の意気の精
立てば治めん御旗の下に　群雄乱れ剣折るゝとも
如何で渡すべき此の旗を　決死の力を尽すまで
血をすゝり涙して　勝ち得し御旗幾春秋の
暮にしあれど　如何で渡すべき仇人に
さらば誓わん我が友よ　命は軽し工友の誉
正義は固し工友の勲　やがて大呼せん勝鬨を
有明湾頭にひびくまで

悠哉会々員名簿

	氏　名	現在のお住まい
1	石原　只雄	神奈川県　横浜市
2	上野　策光	福岡県　北九州市
3	宇梶　洋	神奈川県　座間市
4	奥村　周	愛知県　半田市
5	鈴木　博	千葉県　千葉市
6	高島　靖	大阪府　大阪狭山市
7	初野　恭敬	福岡県　北九州市
8	原口　俊雄	兵庫県　神戸市
9	藤田　健治	大阪府　枚方市
10	古田　文昭	広島県　広島市
11	横山　栄一	大分県　大分市
12	大野　夫人	長崎県　長崎市
13	尾田　桂子	福岡県　北九州市
14	堺　多喜子	福岡市　福岡市
15	坂井　夫人	佐賀県　武雄市
16	佐藤　夫人	住所不明
17	高木　夫人	住所不明